Mysqlからaccessへの変換

1. ODBCドライバーのインストール
   * MySQL :: MySQLコネクタ（<https://www-jp.mysql.com/products/connector/>）にアクセスして、ODBC Driver for MySQL (Connector/ODBC)右横の[ダウンロード]をクリックします。
   * ACCESSのバージョンを確認：左上の[ファイル] 、サイドバーの [アカウント]とクリックして、製品情報から[Accessのバージョン情報]をクリック。
   * 一番上の行の最後に、32bitか64bitかが表示される。
   * それに合わせて、Windows (x86, 32-bit), MSI InstallerかWindows (x86, 32-bit), MSI Installerかを選択
   * ダウンロードしたファイルmysql-connector-odbc-8.0.19-win32.msiをダブルクリックして実行（typicalインストールを選択）
   * インストール完了
2. Accessでの設定－ODBCデータベースの新規作成
   * Accessを起動して、リボンの[外部データ]－[新しいデータソース] －[他のデータソースから]－[ODBCデータベース]をクリック。
   * 「リンクテーブル」を選択
   * データソースの新規作成：「コンピュータデータソース」を選択
   * [MySQL ODBC Unicode Driver]を選択
   * 適切な名前をつけて保存
   * ドライバーが起動して設定画面が表示されます。先ずは、接続するサーバー名、MySQL管理者のID及びそのパスワードを入力して[Test]ボタンをクリックしてみます。(Connection successfuldeで接続成功)
     1. サーバー名：さくらVPSのIPアドレス
     2. MySQL管理者のID：narajwwa　パスワード：jwwa2901
     3. データベース：narajwwa\_kaikei
   * テスト接続によって、Databaseのプルダウンメニューに接続できるデータベースが一覧表示されます。[bitnami\_redmine]を選択して[Details>>]ボタンをクリックしてください。
   * Metadata]タブをクリックして[Don’t use INFORMATION\_SCHEMA for metadata]にチェックを入れた後に[OK]ボタンをクリックしてください。
3. Accessでの設定－ODBCデータソースの選択
   * さきほど作成したデータソースを選択して[OK]ボタンをクリックします。
   * Passwordを入力して[OK]ボタンをクリックします。
4. Accessでの設定－リンクテーブルの作成

Jet-tool使い方<https://kamocyc.hatenablog.com/entry/2019/11/22/073220>

ダンプ

.accdb形式のAccessファイルをダンプするには下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します． テーブル、クエリ、リレーションシップがダンプされます。実行結果は標準出力に出るので，ファイルにリダイレクトしています．

Jet.exe dump -f <filepath.accdb> --all --accdb --no-data > dump.sql

<filepath.accdb>にはAccessファイルのフルパスを指定します．

よく使うオプションは下記があります．

-f <filepath>: 対象ファイルパス

--all: 全てのテーブル，クエリ，リレーションシップを処理対象とする

-accdb: accdb形式を対象とする（オプションが無い場合はmdb形式）

--no-data: 構造のみダンプし，データをダンプしない

--tables: 処理対象のテーブルを指定

リストア

ダンプされるのは通常のSQLなので，これを実行すればリストアされます．

jetツールでは，下記のようにしてSQLを実行できます．

Jet.exe exec -f <filepath.accdb> --accdb < dump.sql